自　己　評　価　結　果
（2022 年度）

（2023.5.31）

学校法人川原学園
東京動物専門学校

目　　次

１．はじめに・・2

２．学校概要・・2

３．教育活動・・3

４．学業成果・・4

５．学生支援・・5

６．教育環境・・6

７．学生募集・・7

８．財務・・8

９．地域貢献・地域連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

１０．　表

表１　2022 年度　卒業生就職状況

表２　2022 年度中に学校主導で取得した資格

表３　過去 7 年間の自主退学者数と退学時期

表４　学生課が扱った学生の相談、及び指導内容とその延べ件数

表５　八千代キャンパス　学生利用施設

表６　富里キャンパス主要動物舎

表７　富里キャンパス教材動物

表８　主要実習用設備、及び備品

表９　財務消費比較表（５カ年）

１．はじめに

東京動物専門学校は、1987 年東京都三田に東京動植物専門学院としてスタートし、1990 年 3 月千葉県知事より設置認可を得て、学校法人川原学園、東京動物専門学校として開校し、同時に千葉県八千代市に八千代本校舎、富里市に富里実習施設を設置し、動物管理技術者を養成する専門学校として今日に至っております。

学校創設から 36 余年が経過し、多くの卒業生が北海道から九州沖縄まで全国各地の動物園や水族館をはじめ、多くの動物関連施設にて働いております。

また、より実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組む専門課程を文部科学大臣が「職業実践専門課程」として認定する制度に、本学も 2014(平成 26)年 3 月にその認可を受け、職業教育やキャリア教育の充実に努めておりますので、次の通り、最新の学校情報について公表いたします。

2020(令和 2)年 1 月の新型コロナウィルス感染症の発生から、2023(令和 5)年 5 月の感染症法の 5 類に変更されるまでの 3 年間、緊急事態宣言の度重なる発出など、多くの課題に遭遇し、試行錯誤を重ねつつ様々な感染防止策を取りながら、学校運営に努めました。しかし、新型コロナ感染症自体は無くなるわけではないので、今後の学校運営上での予防対策など適宜対応いたします。

２．学校概要

(1)校訓

東京動物専門学校の校訓は「心・知・技・体」です。これは、動物管理技術者に必要な仕事、または動物に対する正しい考え方(心)、最小限必要な知識(知)、基本的な技術(技)、及び健康な体(体) をバランス良く兼ね備えた技術者を育成することです。このうち、学校の授業で教授できるものは「知」と「技」であり、「心」と「体」は２年間の学校生活を通じての様々な体験より身に付くものであると考えております。

(2)学校の歩み

① 学校誕生

東京動物専門学校は、川原鳥獣貿易株式会社が母体となっております。初代理事長川原義郎は、全国の動物園や水族館からの要望に応えて世界中から動植物の調達等を取り扱ってきました。その仕事を通じて、これらの動物の飼育現場には、動物に対する正しい知識と技術をもった人材がますます必要になると感じ、動物の飼育や看護の専門技術者を養成する学校を設立した次第です。

② 学校の概要

名称　　学校法人　川原学園　東京動物専門学校

住所　　〒２７６－００４６

　　千葉県八千代市大和新田１０９３番８号

TEL　０４７－４５９－０５１１（代）
フリーダイヤル　０１２０－０１０５２０

沿革　1987 年　4 月　初代理事長の川原義郎が東京都三田に東京動植物専門学院を設立し、開校
1989 年 12 月　八千代本校舎完成
1990 年　2 月　富里実習施設完成
1990 年　3 月　千葉県知事より専修学校の認可を得て、学校法人川原学園を設立し、東京動物専門学校と校名を変更
1990 年　4 月　東京動物専門学校開校
1992 年　3 月　本校新校舎完成
1993 年　4 月　学科を統合し、コース制を導入
2014 年　3 月　文部科学大臣より「職業実践専門課程」の認可を受ける
2015 年　4 月　東京動物専門学校　動物管理科　各学年　140 名に学則変更
2018 年 12 月　富里キャンパスに、講義棟新設

課程　動物管理専門課程　動物管理科　動物飼育技術者コース

３．教育活動

(1)教科数、体系と目標

授業教科は２年間、４９科目数、８７単位で構成されております。２年間での総授業時間 2451 時間で、内講義は 945 時間、実習は 1506 時間。詳しくは、職業実践専門過程の基本情報をご参照下さい。

2016 年より 1 学年を対象に、上野動物園・多摩動物公園・葛西臨海水族園を専門講師の案内による特別案内授業を開始した。新型コロナウィルス感染症の影響により団体入場不可などで、2022 年度は前年と同じ市川市動植物園、埼玉子ども動物自然公園、しながわ水族館に実地授業および関連科目との連携授業を行った。更に、学外見学は那須どうぶつ王国や八景島シーパラダイス、多摩動物公園とし、各自課題を持ちながら、グループ別で密にならないよう 10 月に実施した。進路決定の手助けになるよう、就職を目指した活動とすると共に、見聞も広めることが出来たと思います。

施設研修（インターンシップ）を２年次後期に実施しております。新型コロナウィルスの影響は少し緩くなり、全員施設研修を終えました。職業教育協定書(事業契約契約書)を締結した事業者のもとにて、基本的には４週間（総時間数 182 時間）の動物飼育実習分野における実践的な職業教育を受けると共に、就職に直接結び付いたケースもありました。

(2)資格試験（各種資格）

潜水士／ダイビング、危険物取扱者（乙種）及び赤十字救命法救急員講習会、玉掛け技能講習、刈払い機取り扱い作業者について、取得方法の指導、試験についての相談、アドバイス等、資格取得講座を開設し希望者には受講させています。

(3)教職員

2022 年(令和４年)5 月１日現在の教職員数は３２名で昨年同様です。

教員数　２８名（本務　１１名　兼務　１７名）

職員数　　４名（本務　　４名　兼務　　０名）

職業実践専門課程では、教職員の研修を強く求められております。当校でも研修体制を充実させており、数年前より全国各地の動物園・水族館などの学生の就職先施設を訪問し、直接、園館長に概要を伺い、卒業生に仕事の内容などについてインタビューし、最新情報の収集に努めています。2020 年よりはコロナ発生により中止としておりましたが、2023 年 3 月には浜松市動物園、豊橋総合動植物公園の両園での研修を行うことができました。

４．学業成果

(1)就職指導

① 就職指導の方法

本校での就職指導は、大別して３つの方法で行っております。

第１の方法は、全体指導です。１学年に入学した時点から、全学生に「就職のしおり」を配布すると同時に、教育課程の進行状況に合わせて就職に対する準備の方法を指導しております。

第２に「就職ガイダンス」なる就職窓口を、学生課が週１回の割合で授業時間中に、個人的に就職の相談にのっております。

第３は、２学年後期（実践段階）に行われる施設研修です。学生が具体的に就職を希望する施設（企業）を決定し、学校が職業教育協定書の締結及び研修の申し込みをし、許可が与えられた場合に約４週間にわたって研修するものです。また研修終了後、全学生と教職員にその成果を報告する発表会を約１週間に施し、情報全校で共有しています。

専門学校での学びとは、就職することと結びついていることであり、就職指導は最も重要な業務です。さらに、学生には専門知識・技能を学ぶことの大切さを絶えず教示しております。

② 就職状況

表１に 2022(令和 4)年度卒業生の就職状況を示しました。コロナ禍での就職

活動ではありましたが、2022 年度卒業 124 名(就職希望者 122 名)で内定者数は 122 名（100%）です。(2023 年 5 月 1 日現在)

就職先は、ほぼ動物関連業種であり、動物園、水族館は 49 名(前年 51 名)で、前年度より 2 名減でした。酪農畜産関係は 15 名(前年 5 名)と大幅増で、逆に、ペット販売業や動物病院は大幅に減少しました。なお、求人時期ですが、例年、実験研究関連の 4〜5 月から始まり、動物園関係が施設によっては、毎年秋以降とか、年を越す場合もあり、公立動物園第 1 希望者に、就職先を選択させるのは、なかなか問題・困難があるのが現状です。

(2)資格取得状況

表２に 2022 年度の学校主導で取得した資格状況を示しました。大半の資格は１学年次に取得しておりますが、一部の学生は 2 学年次にて取得しております。また例年実施している民間資格の赤十字救急法救急員の講習会は、2020 年度についてはコロナにて中止しましたが、2022 年度は 2021 年度に引き続き実施し、全員取得しました。

(3)自主退学者の状況

表３に 2016 年より 2022 年までの 7 年間の学年次別、学期別に自主退学者数と退学率をまとめました。2021 年度入学生では、1 学年次 16 名、2 学年次 8 名の計 24 名であり、2020 年度入学生と同じ退学者数となりました。2022 年度入学生では、1 学年次で 16 名(前期 8 名/後期 8 名)であり、2021 年度入学生と同じ退学者となりました。これらの退学主要要因は、新型コロナウィルス感染症によるものも考えられます。また進路変更も要因の場合もあり、入学前の説明会などでしっかりと当学校の特徴を説明し、納得した上での入学を進め、退学者の発生防止に努めたいと存じます。

５．学生支援

(1)学生相談

表４に、学生課が扱った学生の相談、及び指導内容とその延べ件数を 2021 年度 2022 年度と並列して示しました。

出欠席について、1 学年、2 学年とも前年よりも増加しており、コロナ関連等での相談にて増えました。また定期試験に関しては、両学年とも前年よりは減少しております。他の項目でも増減はあるものの、通常年と変わらない範囲です。

私生活関係では特に１学年に健康面での相談が多いのが通年でしたが、今年度は前年より急増(3→23)したのが、目立ちます。

(2)経済支援

独立行政法人日本学生支援機構による奨学金制度

公的な奨学金制度を学生に紹介するとともに、懇切丁寧に相談に対応し、経済支援をしております。なお、従来から、支援機構などを利用できない場合等のために本校独自の特別奨学金制度を設けておりますが、最近は活用されていないのが現状です。

６．教育環境

(1)八千代キャンパス及び学生利用施設

講義による知識の習得の場としての八千代キャンパスは、1989 年（本館）及び 1992 年（新館）に建設され、教室の面積によりコース別講義室(本館)と学科講義室(新館)に分かれております。

また学生利用施設として、自習施設（図書室)、福利施設としての学生ホールも備えている。詳細の面積等については、表５に示す。

学生数増加に伴い、教室内に大型 TV を設置し、映像による講義の効果を高めており、学生には好評です。

(2)富里キャンパス

表６に富里キャンパスの主要動物舎面積を示しております。主要動物舎は第１号より第２２号まで２２棟あり、そのほかに放飼場、馬場、馬放飼場、付属農園があります。これらの動物舎は、本校の学生が動物舎の構造を実際に理解する目的で、学生等の実習を兼ねながら手造りしたものが多く、体験実習の成果であります。また展示施設ではなく、あくまでも飼育施設であり、動物福祉に配慮した構造としております。

2018 年秋には、講義棟が新築され、講義や実習に活用させています。

表７には、富里実習施設において飼育している教材となる動物を、哺乳類から鳥類、は虫類、両生類、魚類まで 233 種類 1,565 点（2022 年 3 月末）動物園や水族館等で飼育されているような動物が実習に供されています。

(3)実習用設備及び備品

主要実習設備及び備品を表８に挙げました。基本的な備品の整備に努めています。

(4)防災対策

７月に八千代キャンパスにて、市消防署の協力を得て火災防災訓練を、１２月には地震防災訓練を学生及び教職員全員を対象に実施しております。

７．学生募集

(1)インターネットでの情報提供

インターネットのウエブ上で、ホームページを開き学校紹介を行っており、学校案内、学べること、キャンパス紹介、卒業生の活躍、オープンキャンパス案内、最新情

報プログなど内容は、随時最新の情報に更新しております。また資料請求や問い合わせもウエブ上でできるようになっております。

また東京動物専門学校案内を 2023 年度版『まるで動物園のような学校！』(15p)を作成し、カリキュラムや飼育・施設研修内容、就職情報等を満載しております。近隣の高等学校に配布し、また資料請求に基づき希望者には送付しております。

(2) オープンキャンパス

① 学校説明会

八千代キャンパスで開催し、学校及び学校生活全般の説明をしており、入学試験、学費、就職などの多くの各種質問も受けています。

また校舎内外の見学も併せて実施し、学校内容を充分に理解、納得した上で試験に臨むよう入学希望者に説明しています。この説明会は、土曜日開催定で、今年度は 17(昨年度 11)回開催しました。

② 体験入学（実習体験）

富里キャンパスで実施している飼育実習の一部、動物のエサづくりやエサやり、また、乗馬などが体験できます。この体験入学は、5 月から 7 月の日曜日に 8(昨年度 6)回開催しました。

③ 施設見学

施設見学は冨里キャンパスで開催し、放飼場や動物舎をご案内いたします、冨里キャンパスでの学生生活を想像していただけます。今年度は 6(昨年度 3)回開催しました。

④ 授業見学

八千代キャンパスにて実際に学生が学ぶ様子を見学するもので、学校の雰囲気を体感することができます。また休憩時間には、在学生と話すこともでき、若者同士による情報交換の時でもあります。授業見学は月～金曜日まで事前予約にて受け入れておりますが、コロナの影響のためか、参加者は 5 名でした。

(3) 高等学校(ガイダンス)訪問

全国の約 4800 高等学校の内、約 2200 校に、学校案内書を送付しております。その内関東圏には約 1000 校あり、学校や進路業者などからのガイダンス依頼数は 163(昨年度 176)件で、実際には 77 校と依頼外の 38 校の計 115 校を、庶務課や学生課の職員が訪問し進学担当者などに直接面会し、学校案内書などを利用し情報提供するとともに、学生の進路相談時の学校紹介などについて依頼しております。

８．財　務

表９に財務消費比較表にて 2018 年度より 2022 年度までの過去５カ年分を示しました。2021 年･2022 年と連続して定員割れとなっており、入学者減と退学者増によるもので、当然、収入も減少しましたが、直ちに、経営への影響は少なく、財務は一応健全です。しかしコロナ禍であって、地方からの入学生減少が続き、2023 年度入学者も定員に満たない状況で、今後予断を許さない状況に陥ることも配慮しなければなりません。財務健全化にはまず、入学者の確保です。コロナ感染症は収束の気配を感じますが、まだまだ予断は許されません。学校経営は、大半が固定的経費です。今後共、経年劣化する建物の維持管理費の捻出のためにも、入学生の確保は、専門学校の維持管理上でも最重要事項ですが、次に、経費の節にも留意いたします。

９．地域貢献・地域連携、その他

(1)学校祭

2022 年 9 月 23 日から 25 日までの３日間、八千代キャンパス及び校庭にて第 34 回学校祭を開催しました。コロナ対策として 23 日は関係者のみ、一般公開は 24、25 日とし、飲食関係は中止等にて実施し、3 日間で 8,242 名の参加者でした。2 年生より 1 年生への伝承、継続のため、規模の縮小があっても、開催することが必要と考え、実施しております。保護者の家族連れや卒業生が誘い合って来場し、楽しんでいる様子を毎年繰り返しており、学校祭の果たす役割の大きさを感じます。2023 年 9 月にはコロナの影響は無くなると思います。2 年間での一番となる学生生活の思い出となるともに、地域の人々に喜ばれ、楽しみとなるような地域貢献の継続を期待します。

(2)新型コロナウィルス感染症

2020 年 1 月に新型コロナ感染症が確認され、2022 年度末までの 3 年間でコロナウィルスは変異を繰り返し、感染者数では 8 回の増減の波を作りました。第７・８波では 1 日の感染者数は 20 万人を超えましたが、死亡者数は逆に大幅に減少するという推移です。その間非常事態宣言が発令され、学校としても種々な対応を迫られて現在に至っております。しかし 3 年目を迎えた 2022 年度では学校祭、施設研修、外部施設見学等の行事は､過去 2 年に比べればほぼ満足するような内容で実施できました。基本的な感染防止対策を愚直なまでに実施した賜物と思います。

2023 年 5 月には 2 類から 5 類に移行し、規制もほとんど無くなりますが、コロナウィルスが消滅してはいません。油断は禁物ですので、コロナを恐れずに、基本的な予防策を継続し、習慣化していく必要性を感じています。

以上

表１　　2022 年度　卒業生就職状況　　2023.05.01 現在

卒 業 者 数□：□１２４名

就職希望者数□：□１２２名

就 職 者 数□：□１２２名

就　職　率□：□１００％

主　な　就　職　先

就職先分野	企業数	求人数	就職者数
動□□物□□園	５５	１１６	４０
水□□族□□館	２９	５０	１２
観□光□施□設	１７	３２	２０
馬育成・管□理	９	１２	４
酪□農・畜□産	４８	１２５	１５
実験動物・研究施設等	６	３３	２
動□物□病□院	７９	１４０	１
愛玩系動物販売	２５	１００	１２
動□物□訓□練	９	１２	３
動物ふれあい施設	３	２２	５
その他動物関連	４	４	２
動・物・関・連・外	６	６	６
総□□合□□計	２９０	６５２	１２２

動□□物□□園	仙台市八木山動物公園、長野市茶臼山動物園、東京動物園協会(*) 横浜市緑の協会(*)、市川市動植物園(*) 静岡市立日本平動物園(*)、 豊橋総合動植物公園(*)、ネオパークオキナワ、 宇都宮動物園、東武動物公園、東北サファリパーク、那須どうぶつ王国、那須ワールドモンキーパーク、群馬サファリパーク、富士サファリパーク、伊豆アニマルキングダム、 伊豆シャボテン動物公園、富士花鳥園、掛川花鳥園、
水□□族□□館	青森県営浅虫水族館、鴨川シーワールド、八景島シーパラダイス マクセルアクアパーク品川、箱根園水族館、新屋島水族館 長崎ペンギン水族館(*)、DMMかりゆし水族館
観□-光□-施□-設	のぼりべつクマ牧場、小岩井農場、那須千本松牧場 伊香保グリーン牧場、マザー牧場、ふなばしアンデルセン公園 成田ゆめ牧場、東京ドイツ村、雪印こどもの国牧場
馬育成・管□理	静内フジカワ牧場、サンヨーガーデンライディングクラブ エル・パティオ牧場、NPO法人ホース・トラスト
酪□農・畜□産	(独)家畜改良センター、太平洋ブリーディング㈱、Farmto-mo 加藤牧場、高秀牧場、宇畑牧場、夢ミルク館(ホリ牧場)、弘安牧場
実験動物・研究施設等	東京慈恵会医科大学、㈱エーテック（研究機関）
動□物□病□院	豪徳寺なみき動物診療所
愛玩系動物販売	COO&RIKU、ペットの専門店コジマ、ペッツワン、神畑養魚㈱
動□物□訓□練	おさるランド(日光さる軍団)、㈱鷹匠、㈱梅香荘警察犬・家庭犬学校
動物ふれあい施設	新潟市動物ふれあいセンター、アニタッチみなとみらい mipig-café、ちくちくCAFÉ、ドルフィン・ベェイス
その他動物関連	千葉県教育委員会(実習助手)、あずみ農業協同組合

□□□(*)印は、契約社員等又はアルバイト契約（更新条件付）東 京 動 物 専 門 学 校

表２　　２０２２年度中に学校主導で取得した資格

資　格　名	国家資格 民間資格	の区別	取得者数（人） １学年次学生	２学年次学生
危険物取扱免許（乙種）	国		３９	1
潜　水　士	国		１９	2
赤十字救急法救急員(※)	民		１０９	0
玉掛け技能講習	国		１１０	0
刈払い機取り扱い作業者	国		９９	0
小型船舶操縦士	国		0	0
フォークリフト	国		0	2
			３７６	5
		合　計	381	

過去７年間の自主退学者数と退学時期

表　3　　単位（人）

入学年度	入学者数	退学者合計 （退学者の入学者に対する割合％）	１学年前期	１学年後期	２学年前期	２学年後期	留年者
2016年	１２８	１６ (12.5)	4	5	5	2	特別コース１名
2017年	１５３	１２ (7.8)	3	5	4	0	
2018年	１５３	３０ (19.6)	3	２０	5	2	
2019年	１４４	１３ (9.0)	5	2	5	1	
2020年	１４９	２４ (16.1)	１０	１１	2	1	特別コース１名
2021年	１４８	２４ (16.2)	4	１２	3	5	特別コース１名 退学１年後期
2022年	１２４	１６ (12.9)	8	8			休学者１名

表４：学生課が扱った学生の相談、及び指導内容とその延べ件数

内容＼学年	１学年（件） 2021年度	2022年度	２学年（件） 2021年度	2022年度
学校関係				
学校生活全般	１６	４	０	９
進路変更	６	１０	０	３
友人関係	０	０	０	０
出欠席	４０	６７	１３	５４
定期試験	６１	４６	３３	２５
学外研修	０	０	０	０
私生活関係				
健康	３	２３	４	６
私生活全般	０	０	０	０
将来への不安	０	０	０	０
合計	１２６	１５０	５０	９７

表5：八千代キャンパス　学生利用施設

校舎	用途	名称	面積［㎡（坪）］	備考
本館	コース別講義室	１０２教室	６０.７５（１８.３７）	
		２０１教室	６０.７５（１８.３７）	
		３０１教室	６０.７５（１８.３７）	
		３０２教室	６０.７５（１８.３７）	
新館	学科講義室	１０３教室	６０.３２５（１８.２８）	
		２０３-１教室	１２０.６５（３６.４９）	203-2教室と合わせて、教室として使用可。
		２０３-２教室	１２０.６５（３６.４９）	同上
		３０３教室	２７９.３０（８４.４８）	
			３３.７７（１０.２１）	
	自習施設	図書室	蔵書数（２０２２年３月３１日現在）２,０２９冊	
新館	福利施設	学生ホール	１１２.８２５（３４.０９）	

表６：富 里キャンパス 主 要 動 物 舎

名　　称	面積［ ㎡（坪）］	
第１号　動物舎	１６７.２０	(５０.５８)
第２号　動物舎	１０９.５０	(３３.１２)
第３号　動物舎	１９３.９０	(５８.６５)
第４号　動物舎	２８１.４０	(８５.１２)
第５号　動物舎	１８２.６０	(５５.２４)
第６号　動物舎	２７０.００	(８１.６８)
第７号　動物舎	２３６.００	(７１.３９)
第８号　動物舎	１３２.２０	(３９.９９)
第９号　動物舎	１３２.２０	(３９.９９)
第10号　動物舎	２０７.７０	(６２.８３)
第16号　動物舎	６７.５０	(２０.４２)
第17号　動物舎	３４.００	(１０.２９)
第18号　動物舎	３２.４０	(９.８０)
第21号　動物舎	５０.８０	(１５.３７)
第22号　動物舎	２０.９０	(６.３２)
牛　　舎	６４.８０	(１９.６０)
放 飼 場	３,３００.００	(９９８.２５)
馬　　場	２,０００.００	(６０５.００)
馬 放 飼 場	２,０６７.００	(６２５.２７)
付 属 農 園	１７,０８８.００	(５,１６９.１２)
合　　計	２６,６３８.１０	(８,０５８.０３)

表７：富 里 実 習 施 設 教 材 動 物

綱	種	点 数
哺　　乳	８２	７０８
鳥	１２１	７１６
ハ　　虫	１８	５０
硬 骨 魚	４	１０
合　　計	２２５	１４８４

（２０２３年３月末現在）

表８：検査用設備及び備品

1	AC－１ｼｽﾃﾑｹｰｼﾞ L型	1	28	耳鏡セット アンテナ付	6
2	入院用ケージ	1	29	眼鏡セット	1
3	体重計診療台	1	30	ウッド灯	1
4	手術台	1	31	尿比重計	1
5	動物全身麻酔装置	1	32	卓上タンパク比重計	1
6	心電図モニター	1	33	タンパク屈折計	1
7	ﾚｯﾄｹﾞﾝ ｼｽﾃﾑ	1	34	ヘマトクリットリーダー	5
8	ﾚｯﾄｹﾞﾝ ｶｾｯﾃ	9	35	血球計算盤（３種類）	17
9	シャウカステン	1	36	黄疸指数計	2
10	グリット	1	37	聴診器（学生用）	20
11	プロテクターグローブ	2	38	聴診器（ﾘｯﾄﾏﾝ）	2
12	プロテクターエプロン	1	39	上皿天秤	1
13	無影灯	1	40	電子天秤	1
14	保育器	1	41	骨格標本	1
15	内視鏡	1	42	模型（眼・耳）	3
16	自動高圧蒸気滅菌器	1	43	ＣＰＲ　ＤＯＧ	1
17	ガス滅菌器		44	術衣・有窓布・無窓布	37
18	ガス滅菌器　カスト	1	45	ｸﾞﾙｰﾐﾝｸﾞ台	17
19	ﾍﾏﾄｸﾘｯﾄ遠心機	1	46	シンク	4
20	殺菌線消毒器	1	47	ハンドドライヤー	7
21	顕微鏡(ﾓﾆﾀｰ付)	1	48	スタンドドライヤー	3
22	顕微鏡	27	49	毛刈り用バリカン	6
23	スケラー	2	50	シーラー	1
24	輸液ポンプ	5	51	術衣棚	1
25	輸液ポンプ	5	52	器械戸棚	1
26	検眼鏡・耳鏡付	1	53	物置戸棚	1
27	喉頭鏡	1	54	備品戸棚・物品棚	8

表９　財務消費比較表（5ヵ年）

	２０２２年度	２０２１年度	２０２０年度	２０１９年度	２０１８年度
事業活動収入合計	354,835,486	382,215,233	402,090,496	382,568,951	415,811,736
基本金組入合計額	0	15,327,070	41,209,819	540,000	10,180,097
事業収入の部の合計	354,835,486	366,888,163	360,880,677	382,028,951	405,631,639
事業活動支出の部の合計	376,429,615	379,842,198	372,849,987	380,345,257	367,388,178
当年度収支差額	△ 13,053,818	△ 12,946,277	△ 13,313,925	1,704,638	38,250,857
前年度繰越収支差額	△ 428,435,906	△ 415,433,468	△ 402,119,543	403,824,181	△ 442,025,038
基本金取崩額					
翌年度消費収支超過額	△ 441,489,724	△ 428,379,745	△ 415,433,468	△ 402,119,543	△ 403,824,181
減価償却費	15,179,414	15,145,351	12,818,288	12,007,686	11,740,183
在籍者数（5月1日現在）	256名	275名	286名	273名	298名
教員数（本務・兼務）	28(11･17)名	28(11･17)名	28(12･16)名	28(12･16)名	26(12･14)名
定員に対する現員比較（%）	91.43%	98.21%	102.14%	97.50%	106.43%

意　見　書

2023 年 5 月 10 日

学校法人川原学園　東京動物専門学校
学校長　北村　健一　　様

NPO 静岡県自然史博物館ネットワーク非常勤職員
獣医師　片井　信之

次の通り、2022 年度自己評価について、意見をまとめてみました。

1．教育活動

「特別案内授業」は 7 年目を迎え、2022 年度は前年同様に市川市動植物園、埼玉こども動物自然公園及びしながわ水族館で実施し、動物園や水族館での飼育動物の知識や仕組み、展示方法など幅広く専門講師にて解説を受け、その成果は終了後のアンケートから読み取ることが出来ます。課題を持った動物園・水族館の見学であり、動物研究法等の授業との連携で、学習成果は一段と高まったものと思います。更に、秋の学外研修も、課題と共に那須どうぶつ王国、八景島シーパラダイス、多摩動物公園に行きましたが、入学してから半年以上経過し、種々な授業を受けての見学であり、有意義な施設見学会になったことと思います。

次に、2 年生の施設研修は、今年度は希望の研修先が確保でき、研修先施設からの評価は、大半が良好な評価とコメントをいただき、就職に結びついた学生もおり、大変良好でした。

2．学修成果

就職状況について、2022 年度も 100%であり、よかったと思います。動物園水族館に 50 名近くの学生が就職でき、希望がかなえられた学生が多いと思われます。

ただし、動物園や水族館関係者の話題　−公民問わず、就職後数年での退職者急増問題について−教育の現場でも何ができるのか、その対応が必要と思われます。

自主退学者の状況は、2021・2022 年度と数年前より増加しております。原因として精神的な問題や学費問題とのことが多いようです。ただし、学校側の慰留は、全く通じず、退学に関して非常に淡泊に決断しており、Z 世代の一面とも思われます。しかし学校としては、是非共、中退者ゼロを目指した指導等を今後とも、よろしくお願いします。

3．その他

この 3 年余りのコロナ対応に、積極的、毅然とした姿勢には感心し、学校の対応を評価したいです。現近の動物園・水族館の共通課題としての「動物福祉」問題はグローバルな視点から大きな課題となっており、特にイルカ問題も海外からの圧力で日本が弱腰になった経緯があります。今後とも「動物福祉」問題は継続し、より強まると想定されます。動物専門学校として授業に、より踏み込む必要があると思われます。施設として、特に動物とのふれあいが大きな問題となっています。ふれあい施設に就職する学生を思うと避けられない課題であり、何らかの対応を期待します。2022 年 12 月国立動物園をつくる会主催のシンポジューム「動物園のふれあいと福祉」を八千代キャンパスで開催し、学生が聴講しました。このような機会をつくることも学生にとって大きな刺激になると思います。今後とも、次世代を見据えた教育に進んでもらいたい、期待しています。

（　以　上　）